

平成21年3月31日

平成20年度地域ICT利活用モデル構築事業 成果報告書

実施団体名 青森市

事業名称 地域マイレージシステムを活用したICカードとSCSによるコンパクトシティ形成事業

1. 事業実施概要

本市のまちづくり理念であるコンパクトシティ形成の実現に向け、市民が情報を発信・共有する地域情報ネットワーク「青森SCS（ソーシャル・キャピタル・サービス）」を構築するとともに、環境負荷軽減の取組等、市民の社会貢献活動に対してポイントを付与し、循環的に促進するマイレージシステムを構築する。また、ポイントの活用や商店街決済等をICカードで共通化するシステムを構築する。

(平成20年度の取組)

- ①地域の観光情報や商店街情報など、有益な情報を収集・蓄積し、市民が発信・共有できる地域情報発信サイト「青森SCS」を開設
- ②観光客や買物客の方でも、まちなかで容易に観光情報等を入手できるよう、タッチパネル式のディスプレイ（パブリックディスプレイ）を市内3箇所に設置
- ③市民がICTを活用したこれらの活動を積極的に行うための誘導の仕組み（インセンティブ）として、本市独自のポイントシステム（青森マイレージシステム）を構築し、地域情報の発信や環境負荷低減活動などの活動内容に応じてポイントを付与し、ポイントによる商店街サービスの提供や景品との交換等を実施
- ④ICカードを活用したポイント活用と商店街決済を可能とするシステムを開発

2. 目標の進捗状況

指標	目標値	結果の数値	達成状況	計測方法・出展等
ポイント活用量数	300人	335人	○	データ管理システム
SCS登録者数	1,000人	1,013人	○	データ管理システム
環境家計簿参加者数	100人	120名	○	データ管理システム
SCSへの書込み数	400人	1,969人	○	データ管理システム
まちなか満足度	3.5点以上	3.69点	○	SCS登録者アンケート

3. 達成状況が△又は×の場合はその理由

該当なし

<委託業務説明書>

1 平成20年度事業実施において明らかとなった課題

(1) 青森SCSにおけるコミュニティの活性化及び社会性の向上

コンテンツ情報を充実させることによって、市民、観光客等に対し、地域情報や観光情報等を効果的に発信するとともに、個人の地域貢献活動を促進させることによって、社会性の向上を図る。

(2) 市民レベルの環境負荷低減活動の促進

市民等の社会貢献活動やまちづくりへの参画に対する意識の醸成を図るとともに、環境活動に対する適正な二酸化炭素削減量の算出・評価することによって、市民レベルの環境負荷低減活動の促進を図る。

(3) マイレージポイントの自律的運用

市民等の活動に対する、マイレージポイントの定義及び算定基準を明確にするとともに、商店街や企業等との連携を強化し、ポイント交換メニューを充実させることによって、マイレージポイントの活用及び自律的な運用を図る。

2 自律的・継続的運営の見込み

本事業は、地域SCSの管理運営、商店街決済カードシステムの管理運営、有機的に連携させるためのマイレージシステムの管理運営という3つのシステムの管理運営が必要

各システムの業務内容は性格が異なりますが、本事業を継続的かつ効率的に運営するため、青森市ICT利活用まちづかい協議会を発展・改組した新たな協議会が運営する予定

3 今後の展開方針

(1) ICカードシステムの機能強化

ICカードシステムを導入する加盟店・協力店の増強を図るとともに、買い物ポイントとマイレージポイントのポイント共通化や公共交通決済の可能など、市民等にとって、利便性の高いカードシステムの構築を図る。

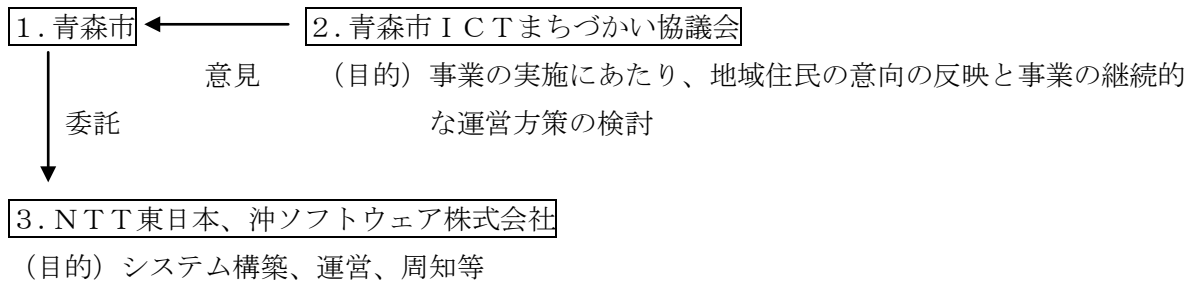
(2) 他団体の取組との連携による当該システムの機能拡充

- ・慶応義塾大学による「コ・モビリティ社会基盤構築事業」と連携し、コミュニティ循環型及び共有型のマイレージシステムを検討する。また、低炭素活動と連携したマイレージシステムの拡張を検討する。
- ・市内7大学による ASCa パスカードシステムと連携し、ICカードの機能拡張による普及促進策を検討する。
- ・八戸工業大学による「EV・pHV導入による低炭素地域モデル構築事業」と連携し、連携EV・pHV利用者に対するエコポイントと青森マイレージシステムの活用方策を検討する。

<実施体制説明書>

1 実施体制

(目的) 事業の実施、自律運営計画策定



2. 各主体の役割

N0	氏名・団体名	役 割
1	青森市	事業企画立案、事業実施（発注）、各団体間の連絡調整を行うほか、平成22年度以降の自律化に向けた調査研究を行う。
2	青森 I C T まちづかい 協議会	事業に対する市民意見の反映や、企画立案・展開に関する調整機関として本事業の円滑な実施に向け助言等を行う。
3	・ N T T 東日本青森支店 ・ 沖ソフトウェア株式会社北海道支社	本市からの委託を受け、I C カードと地域 S C S を活用した地域マイレージシステムの構築を行う。

事業実施進行表

実施内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
協議会等設立・準備									
協議会開催					△			△	△
システム構成の検討・決定									
周知・PR、加盟店募集									
自立的運営調査・研究									
委託業者選定（プロポーザル方式）									
マイレージシステム構築・運営									
S C S システム設計・開発									
S C S システム運用									
情報受発信システム設計・開発									
情報受発信システム運用									
I C カードシステム設計・開発									
I C カードシステムマニュアル作成									
システム機能評価									
報告書作成									

その他

本事業により構築したウェブサイト又は本事業を掲載したウェブサイト

[1] 構築ウェブサイト <http://www.aomori-ubi.jp/> [青森 S C S]

[2] 掲載ウェブサイト <http://www.city.aomori.aomori.jp/> [青森市 HP]

平成20年度地域ICT利活用モデル構築事業 システム設計書

1 概要

本市のまちづくり理念であるコンパクトシティ形成の実現に向け、市民が情報を発信・共有する地域情報ネットワーク「青森SCS（ソーシャル・キャピタル・サービス）」を構築するとともに、環境負荷軽減の取組等、市民の社会貢献活動に対してポイントを付与し、循環的に促進するマイレージシステムを構築した。また、ポイントの活用や商店街決済等をICカードで共通化するシステムの基盤を開発した。

2 運用結果

<システム利用状況>

ポイント活用者数	335人
SCS登録者数	1,013人
環境家計簿参加者数	120人
SCSへの書込み数	1,969人
まちなか満足度（5点満点）	3.69点

3 課題・改修の必要性

- （1）青森SCSにおけるコミュニティの活性化及び社会性の向上
- （2）マイレージポイントの自律的運用
- （3）市民レベルの環境負荷低減活動の促進
- （4）ICカードシステムの機能強化
- （5）他団体の取組との連携による当該システムの機能拡充

4 その他

活用したネットワーク種別・伝送速度

民間通信ネットワーク（パブリックディスプレイによる情報配信）

FTTH：100Mbps